

<h2>1 総人口</h2> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">New!</div>		<p>基準:各年10月1日現在 出典:H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」</p>
<p>◎前年比 -1.0% 21年連続減</p>	<p>◎震災前比 H30=91.8 (H22=100.0)</p>	<p>(人) (前年比:%)</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>
<p>○国勢調査の結果(平成22年と平成27年)を比較すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。 ○平成31年4月1日時点の推計人口は1,848,618人となった。</p>		
<h2>2 人口の移動状況(社会動態)</h2> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">New!</div>		<p>基準:各年1月1日から12月31日までの計 出典:県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p>
<p>◎対前年増減数 H29増減数 -7,408人 H30増減数 -6,513人</p>	<p>◎対震災前増減数 H22増減数 -6,627人 H30増減数 -6,513人</p>	<p>(人)</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>
<p>○平成24年以降は転出超過の縮小が続き、平成28年からは2年連続で転出超過が拡大していたが、平成30年に転出超過が縮小に転じた。</p>		
<h2>3 合計特殊出生率</h2>		<p>基準:年 出典:厚生労働省「人口動態統計月報年計(概数)」</p>
<p>◎前年比 -0.02ポイント 2年振り減</p>	<p>◎震災前比 +0.05ポイント (H22=1.52)</p>	<p>(合計特殊出生率)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<p>○本県の合計特殊出生率は震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復している。 ○平成29年は前年から0.02ポイント下降し、2年振りの減少となったが、全国を上回って推移している。</p>		
<h2>4 地域別最低賃金</h2>		<p>基準:年度 出典:厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」</p>
<p>◎前年度比 +3.2% 15年連続増</p>	<p>◎震災前比 H29=117.5 (H22=100.0)</p>	<p>(円) ※時給 (前年度比:%)</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>
<p>○本県の平成30年度の最低賃金改定額は前年度から24円上昇し、772円となった。 ○現在の表示方式となった平成14年度以降で最大の引上げ幅となったが、全国加重平均額である874円は下回っている。</p>		
<h2>5 学校給食の地場産物活用状況</h2>		<p>基準:年度 出典:県健康教育課「学校給食における地場産物の活用状況調査結果」 ※平成23年度は東日本大震災の影響により福島県での調査未実施</p>
<p>◎前年度比 +5.2ポイント 6年連続増</p>	<p>◎震災前比 H30=113.0 (H22=100.0)</p>	<p>(%)</p> <p>H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>
<p>○本県の学校給食における地場産物の活用割合は、6年連続で増加している。 ○平成30年度については、震災前の水準を上回る40.8%となった。</p>		

<変化方向について>
 緑: 良い動き 赤: 悪い動き 黄: 横ばい で表示。
 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

<h2>6 地価(住宅地)</h2> New!		基準: 各年1月1日現在 出典: 国土交通省「地価公示」
◎前年比(福島市) +2.6% 6年連続増	◎震災前比(福島市) H31=96.9 (H22=100.0)	(円)
○平成26年以降、6年連続で前年を上回っており、ゆるやかな上昇傾向にある。 ○福島市については、前年から1,200円の上昇。平成25年から累計7,600円上昇している。		
<h2>7 福島空港利用状況</h2> New!		基準: 年度 出典: 県空港交流課「福島空港利用状況」
◎前年度比 +3.0% 2年連続増	◎震災前比 H30=93.4 (H22=100.0)	(人)
○平成30年度の国内線と国際線の合計搭乗者数は、震災後としては過去最高となり、前年度に比べ3.0%上昇した。 ○平成30年度のチャーター便数は、過去最高となり、前年度に比べ34.7%上昇した。		
<h2>8 工場立地届出件数</h2> New!		基準: 各年1月1日から12月31日までの計 出典: 福島県企業立地課業務資料(敷地面積1,000㎡以上)
◎前年比 +1.3% 2年連続増	◎震災前比 H30=181.0 (H22=100.0)	(件)
○平成30年の立地件数は76件で、前年に比べ1件増加し、2年連続の増加となった。		
<h2>9 外国人宿泊者数</h2>		基準: 年 出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」
◎前年比 +65.2% 6年連続増	◎震災前比 H29=149.5 (H22=100.0)	(人泊)
○本県における外国人宿泊者数は、震災後以降、6年連続で増加している。 ○平成29年については、震災後初めて、震災前の水準を上回る130,300人泊となった。		
<h2>10 教育旅行宿泊延べ人数</h2>		基準: 年度 出典: 県観光交流課「福島県教育旅行入込調査報告書」
◎前年比 12.1% 6年連続増	◎震災前比 H29=68.8 (H21=100.0)	(人泊)
○平成29年度の教育旅行宿泊延べ人数は、488,298人泊であり、6年連続の増加となった。 ○近年は、観光入込数とともに教育旅行宿泊延べ人数が回復傾向にあり、今後さらなる伸びを期待したい。		

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。